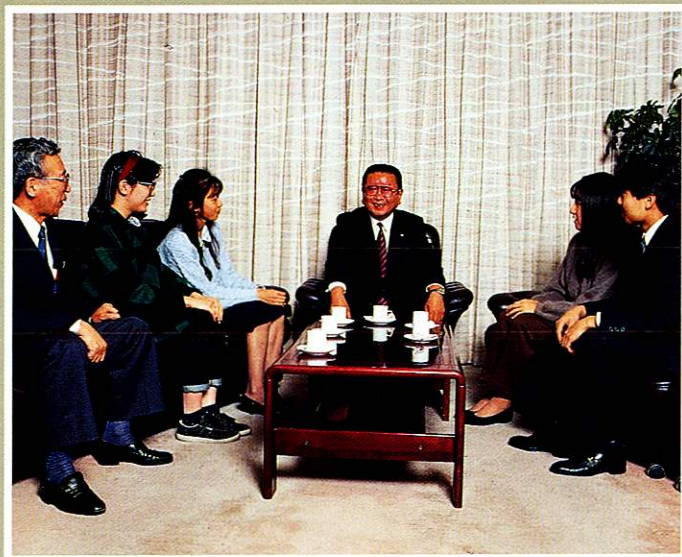


福生の明日を語る



● 出席者

石川 彌八郎

福生市長

大和田 玲子

ボランティア・福手の会

榎本 純子

専門学校生(音響関係)

野口 久仁

短大2年生

村井 基樹

自然観察会・探険教室リーダー

● 司会

野沢企画財政部長

山が見え、川が近くに流れ、
人間的にも、楽しいまち福生

司会 本日はお忙しいところ座談会にご出席いただきまして、ありがとうございます。みなさんは今年成人になられた方々で、この福生市の将来を担う人たちです。今日は、みなさんが日ごろ、福生に対して感じられていること、あるいは福生の将来などについて忌たんのないご意見を伺えればと思っています。

まずはじめに、みなさんは福生に対してどんなイメージを持っているのか、聞かせていただけますか。

村井 高校や専門学校に行って、ほかのまちに住んでいる人と接してわかったのですが、福生市はほかの市と比べて、社会教育の面でかなり充実しているということを感じました。

野口 福生市も私も今年で20歳です。福生市とともに年を重ねてきたわけですが、20年間、何の苦労もなく育ててくれたのは、福生がいいまちだからだと感じています。

小中学校から続いている友達がいるんですが、やはり久しぶりに地元の友達と会うと、びったり話があって楽しいですね。福生は人間的にも、とても楽しいまちだと思います。

榎本 図書館や体育館、市民会館など、施設の面で恵まれたまちだと思います。中学のとき、一中で演劇部に入っていましたので、中央図書館へ音響のレコードをよく借りにいき、ずいぶんお世話になりました。

大和田 福生は山が見えたり、すぐ近くに川があったり、自然に囲まれて



多摩川

いるのがいいですね。山登りをするときも、すぐに行けます。また、買い物も、すぐ近くにお店があって、いろいろなものがまわりにあるなど、とても便利なのがいいですね。公民館に「にじのはらっぱ」がありますが、障害者の方が普段の日に来たときも、事務所の方も、みんなを知っているから、すごく自然体で、明るく迎えてくれるのが、とてもいいですね。ああいうあたたかい心が、いろんな形で地域の中に広がって、深められていくといいですね。

市長 福生は、行政面積は決して大きくはありません。ただ大きくないから、施設を完備で



石川市長

きます。また、例えばこれからまちに花を植えていきたいと思っていますが、大きいところではやりようがなくても、福生市では可能です。狭ければ狭いなりに、それを生かして、美しいまちづくりをしたいと思っています。

司会 福生のよい面を話してもらいましたので、マイナス面についても聞かせてください。大和田さんは、手話のサークルに参加されて、福祉活動をやっていただいていますが、そういう点から、福生の抱えている問題点など気がついていることがありますか。

大和田 今度、手話通訳の制度ができるそうですが、もしできたら、そちらのほうから病院とか、市役所とか、役所関係で、できればその人が簡単な手話ができたなら、いいなと思います。あと、車椅子の方の段差とか、盲人の方のための点字ブロックのうえに、自転車とか、いろいろおいてあったりとかするのも、よくなってほしいと思っています。

榎本 学校へ行って、まわりの人に福生に住んでいると言うと、全然知

らない人がいるんです。福生なんて田舎じゃないの、と聞かれるので、そんなことないよって言っています。また、朝のラッシュ時はそうでもないのですが、やはり昼間、電車の本数が少ないと思います。

野口 大学でサークルに入っているんですけども、地方の人が、意外と福生のことを知らないですね。

大和田 私が福生に住んでいることはわかっていても、住所を見たとき、「ふっさ」と読めない人が多いですね。でも、福生駅の入場券をあげると、幸福が入ってくるからというのを知れば、みんな好きになって、結構ほしいという人がいます。

市長 立川、八王子、町田といった近畿^{（ちか）}になるところは有名で、青梅線というのはやはり支流になってしまっています。でも、西多摩地区では、福生は青梅の次に有名じゃないでしょうか。しかし、やはりこれからはもっと福生を全国にアピールしていく必要があると思いますね。

自然と調和した、快適な生活環境づくりが第一

村井 小学校のころは川でよく遊んでいたのですが、主手でマラソンしていても、最近は小さい子どもが河原で遊んでいる姿が見られなくなりました。河原を公園にする工事ははじまったということが広報に出ていましたが、公園ができると子どもたちは来るようになるかも知れませんが、自然がなくなり虫なんかが増減してしまっ、虫と会う機会が減るのではないかと思います。

市長 その公園の話は、できるだけ自然を残した形でつくろうということで進めていますので、かなり自然は残されていくと思いますよ。

村井 去年、家で勉強をするスペースが足りなくて、学習室を探したのですが、福生市の勉強室は勉強しづ

らいし、暖房も少し寒い。それから、図書館は5時でしまっ、できれば勉強が夜遅くまでできるような施設があるといいと思います。

市長 これは実行するしかないですね。例えば人員が少なければ、増やして、改善していきたい。「市長への手紙」でも、図書館をもっと遅くまで開けるようにしてほしいというご意見はかなり来ていますから、早急に検討したいと思います。

大和田 図書館については、車椅子の方の駐車場は一応あるのですが、そこに車を停めてしまう人もいますし、両幅の空きがないので、もし車椅子で行っても、



大和田 珠子さん

隣に車が停まっていたら、降りられないのではないかと思います。中に入るにしても、道がガタガタ道なので、大変じゃないかと思います。

市長 昔は、図書館などいろいろな施設は障害者に対する配慮がほとんどなされていませんでした。しかし、それではいけません。これからつくるものは、そういうことを十二分に配慮して進めたいと肝に命じて考えています。それから、直すときには、ハンディを負った人たちのことも、十分配慮していきたいと思っています。福祉問題でも、自然を含めた環境問題でも、効率も重要だけれど、これからは快適環境アメニティーということを念頭に整備していきたいと思っています。

「鳥がいっぱいいるあの福生」といわれるようなまちにしたい

司会 将来的に福生はこうあるべきだ、こうあってほしいという点についてはどうでしょう。

野口 昭島の駅前の昭和の森なんかは、テニスコートも30面くらいあり、スケート場やアスレチックなど、いろ

いろいろなものが充実していると思うので、子どもを、もっと安心して遊ばせられる施設が充実してくればいいなと思います。

榎本 もしも10年、20年たって、ほかの土地に移っていて、たまに福生に帰ってきたら、前と一緒だというのがうれしいかもしれないですね。福生が発展していくのはいいのですが、どこにでもあるようなまちにだけはなってもらいたくありません。今のままでいいまちなのですが、子どもからお年寄りまでみんなが気持ちよく、安心して住めるまちななればいいなと思います。



榎本 純子さん

大和田 多摩川の河原も、秋になると、木の実をとる親子もいっぱいいるし、春になればツクシとかノビルをとる人たちが多かったのですが、公園ができてしまうと、もうノビルもとれなくなってしまいうんですよね。だから、できるだけ自然を残しながら、新しい施設をつくっていただきたいですね。

市長 確かに緑はもうこれ以上減らしたくないですね。

司会 数字だけでいうと、市民一人当たりには占める緑地・公園面積は、東京都にある26市の中で2位か3位なんです。だから公的な形で、できるだけ自然を残そうと、緑地なんかを買い込んでいるという意味では、がんばっているほうだと思うのですが、いかに自然と調和させていくかが大事に



文化の森

なってきたらいいなと思います。

村井 野鳥観察をしていると思うのですが、福生には川がありますから、他のまちより何かと有利だと思います。福生には、もういらっしゃいませんが、岡田先生とか、日本的にも有数の鳥の研究をしている人たちがいて、手伝ってくれているのだから、「あの鳥がいっぱいいる福生」と、いわれるようになったら、いいなと思っています。五小が愛鳥のモデル校になっています。五小の子供達とかみんなが自然や野鳥の保護に努力していけば、鳥を増やすということは絶対できることだと思います。鳥がたくさん来れば、野鳥を見る人もたくさん来ると思います。

市長 市制20周年なので、「市の鳥」を決めることになっているのですが、そういうことをやっていくことによって、村井さんがいったような気持ちがだんだん広がっていくといいですね。

大和田 南公園で行った「多摩川ふっさ野外美術展」みたいなイベントはとてもいいですね。ただ、うちが近くだったから、気がついたけれども、もし離れていたら多分気がつかなかったと思います。市の広報に、折角お知らせが載っていても、白黒だけの広報だと、目にとまらないで、気がつかないですんでしまうケースが多いのではないかと思います。

市長 確かにもっと目を引くような形にしたほうがいい、というのはあるかもしれませんが、カラーにするとなると大変ですが、だんだんにでも、そういうことは考えていきたいと思っています。

村井 専門学校でも、地方から来ている人が多いんですが、福生市といえば、どこにあるかすぐわかってもらえるような福生市にしてほしいです

福生七夕まつり



ね。福生駅はいま、青梅、奥多摩の通過地点に過ぎないと思います。福生駅前もずいぶんきれいになりましたが、目を引くものがないと思うんです。だから、駅前とか、福生の中に、途中下車をして、何かしていこう、何か見たいこうというような魅力のあるものをつくっていかないといけないと思います。

大和田 福生駅前は、時計の音で何時かわかるようになりましたね。あれは、とってもいいことだと思います。

市長 福生には桜まつりとか、ホテルまつりとか、七夕まつりなどがありますが、“目玉”がほしいわけですよ。どこのまちに目玉があるかといっても、なかなかないけれども、ああ、あの福生かとわかるような全国的に売り出すものを、何かつくりたいですね。

楽しくショッピングのできる 魅力ある商店街づくり

榎本 新宿とか、渋谷みたいな、あんなに大きくなっていいですから、吉祥寺の駅前みたいになっていると、すごく便利だと思います。アーケードがあって、その中にいっぱいお店があって、お茶屋さんがあったり、喫茶店があったり、洋服屋さんもあって、吉祥寺のあの辺はすごく楽しいですね。

村井 ぼくはあまり都心に出ないからかもしれませんが、買うものだけなら福生ですましています。たまに16号沿いの洋服屋なんかも利用していますから、そんなに不便だとは思

われないけど、友達と一緒に買い物をしようという、福生ではちょっとしたものたりなくて立川より向こうに出なくてはならなくなってしまいます。
市長 現在、福生駅西口再開発事業で、地元みなさんとたびたび話し合いをもっています。みなさんの協力を得ながら、魅力のある商店街の具体化に向けて努力していきたいですね。

**子どもたちが
元気に遊んでいるまちがいい**

司会 最後に、みなさんが子どもだったころと比べると、いまの子どもたちはどう変わったかな、またみなさんが子どものときの福生は、どんなまちだったか聞かせてください。

村井 今年はアウトドア教室を抜かして、子どもたちの全部のリーダーみたいなことをやってみましたが、子どもたちがまずナイフを使えなかった。そして、マッチがつけられないとか、鍋をかきまわせない子どもがいたりして、鉛筆はみんな削れなかったですね。そのうち、こわいようですが、「マッチのすり方教室」なんていうのをやらなくてはいけなくなると思いました。

榎本 あまり最近、市民会館なんか顔を出さないからわからないのですが、私がマンガクラブをやっていたころは、土曜日の午後



村井 基樹さん

なんか結構小さな子が遊びに来てくれたのですが、最近は多分減っているんじゃないかと思います。子供のためのサークルが少ないように思う。私がマンガクラブに入っていたころは楽しくて、いつも市民会館に自転車で来て、遊んで帰るみたいなこと



多摩川ふっさ野外美術展

がありました。小さいころの福生市はとても楽しかったです。

大和田 私の小さいころは、多摩川の土手とかでバッタをとったり、まわりの子供達と木に登ったりとかしていたのですが、いまの子は本当に木に登らなくなって、なんかちょっとやると、親がすぐに注意してしまう。子どもというより、親も自分の子供のころを思い出して自由に子供を遊ばせてほしいですね。

野口 私は生まれたときから商店街の真ん中に住んでいるので、あまり変わったこととかわからないのですが、私たちが小学生のときは放課後、校庭でドッジボールなどを



野口 久仁さん

して遊んでいたのに、いまの子どもはファーストフードへ行ったりして遊んでいます。それもいいと思いますが、そういうふうに変わってきたなというのを感じます。だからどういう遊びにしろ、子どもたちが元気に遊んでいるようなまちがいいなと思います。

市長 今日はお忙しいところ、いろいろお話いただきありがとうございます。今日、みなさんから出された

ご意見を参考にしながら今後も魅力あるまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。目前に21世紀が迫っているわけですが、これからはみなさんの時代です。みなさんに大いにがんばっていただきたい。福生市はこれから「輝く街福生」ということで、アクティブ、クリエイティブ、チャレンジングと、その頭文字をとってACCを合い言葉にして、まちづくりを進めていきたいと思っています。まさにACCとは、みなさんの心の中にあるものだと思います。みなさん方、若人の力がこれからのまちづくりの一番の原動力になるわけですから、ACC作戦に大いに協力していただきたい。今後ともよろしくお願ひしたいと思います。



野沢企画財政部長